

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成26年8月25日現在

●各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
 急患の場合はこの限りではありません。
 ●都合により代診・休診とさせていただきます。ご了承ください。

診療科名	月	火	水	木	金	
内科 083-901-6102 ※呼吸器科、 神経内科、 完全紹介予約制	循環器科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)
	器科	塩見 浩太郎 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)	塩見 浩太郎 (循環器科)	塩見 浩太郎 (循環器科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)
	腎臓科	福井 剛 (循環器科)	赤川 英三 (循環器科)		赤川 英三 (循環器科)	福井 剛 (循環器科)
		* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)
	血液・内分泌・ 糖尿病科	藤田 直紀 (血液・内分泌・糖尿病科)	村木 和彦 (血液・内分泌・糖尿病科)		村木 和彦 (血液・内分泌・糖尿病科)	藤田 直紀 (血液・内分泌・糖尿病科)
	消化器科	原田 稔也 (消化器科)	佐々木 敏行 (消化器科 胆膵)	花田 浩 (消化器科 肝臓)	佐々木 敏行 (消化器科 胆膵)	白石 龍 (消化器科)
	呼吸器科		* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午前9時～午後0時)	* 非常勤医師 (午後2時～)
	【専門外来】	○神経内科 毎週水曜日 *古賀 道明医師の診察となります。				
	1診	小林 俊郎 (心血管・一般)	高橋 剛 (消化器・一般)	郷良 秀典 (心血管・呼吸器)	神保 充孝 (呼吸器・一般)	高橋 剛 (消化器・一般)
	2診	齋藤 聡 (血管・一般)		藤田 陽 (血管・一般)		
083-901-6107	【専門外来】○乳腺・内分泌外来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 齋藤 聡 医師の診察となります。					
小児科 083-901-6106	1診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師
【受付時間】午前8時30分～11時30分 【乳児検診・予防接種】月曜日・水曜日・金曜日 午前10時～11時						
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	菅田 裕士	* 非常勤医師	菅田 裕士	菅田 裕士	菅田 裕士
○菅田医師 午前9時～診療開始 ○水曜日のみ午後受付あり 午後3時～4時(新患・再来) ○火曜日のみ午前10時～診療開始 非常勤医師による診察となります。						
脳神経外科 083-901-6109	1診	* 湧田 幸雄	北原 哲博	* 完全予約制 * 湧田 幸雄	休診	北原 哲博
○北原医師 【受付時間】午前8時30分～10時						
整形外科 083-901-6108 ※初診は完全紹介制	初診	大中 博司 (脊椎・外傷)	三原 修三 (肩関節・外傷)	井上 裕文 (脊椎・外傷)	* 完全紹介予約制 岸本 哲朗 (脊椎・人工関節)	大野 晃靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)
再診	岸本 哲朗	大野 晃靖	大中 博司 (脊椎・外傷)	井上 裕文	三原 修三	
○大中医師 水曜日は午前のみ						
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三
○火曜日は午前のみ、木曜日は手術日のため午前のみ診察となります。						
眼科 083-901-6123 ※初診は完全紹介制	1診	休診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師	休診
皮膚科 083-901-6110 ※初診は完全紹介予約制	1診		休診	* 非常勤医師	休診	
○毎週水曜日 午前9時～午前11時 非常勤医師の診察となります。						
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲 啓治	大場 一生	城甲 啓治	大場 一生	大場 一生

* 印は非常勤医師

医療機関の先生方へ

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。 放射線科検査についてのご相談は 放射線科 中村 洋 医師まで 083-901-6551	CT・MR・RIは直接ご予約できます。 CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時 RI予約 083-901-6154 (※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177	

地域連携室
 患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。
 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時)
 TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357
 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp
 担当 河嶋 裕子

【用語の解説】
★完全予約制…紹介の有無に関わらず事前に予約をお取り頂くことが必要な外来
★完全紹介制…予約の有無に関わらず、医療機関からの紹介(紹介状の持参)が必要な外来
★完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

Life No.72

済生会山口総合病院広報誌 平成26年9月10日発行

済生会山口総合病院
 〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表)
 FAX 083-921-0714

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Life

ライフ

NO. 72

地域医療支援病院
 日本医療機能評価機構認定病院



山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チーム

発行責任者：院長 城甲 啓治

〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2014年9月号

～下肢静脈瘤治療の最先端～

新しいレーザー装置が 保険適用になりました

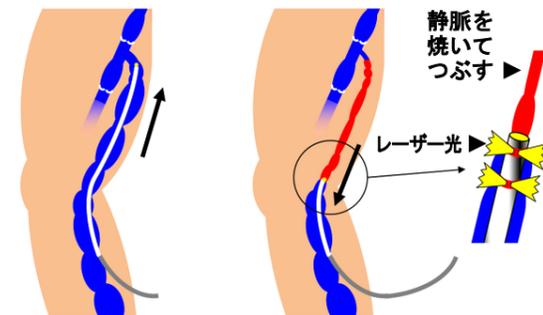


血管外科部長 齋藤 聡



新しいレーザー装置(左はレーザーファイバー)▲

「下肢静脈瘤」とは足の静脈が瘤(こぶ)のように膨れる病気です。治すには手術が必要で、通常は原因となっている静脈を引き抜くストリッピング手術が行われます。一方海外での静脈瘤手術は、血管内レーザー焼灼術、すなわちレーザー治療が主流となってきました。この治療法は、原因となっている静脈にレーザーファイバーを入れて先端からレーザー光を発射し、血管を内側から焼いてつぶすというものです。局所麻酔で治療ができ、傷もほとんどなく、手術時間も短くなりました。



▲レーザーファイバーを静脈内に挿入

▲レーザーを発射しながらファイバーを引く

日本では、長らくレーザー治療は保険が効きませんでした。2011年によりやく保険診療で治療ができるようになりました。しかし、当時のレーザー装置は術後の痛みや内出血が起こりやすいといった問題がありました。

このたび最新のレーザー装置が保険適用になりました。レーザーの波長やファイバーが改良され、太い静脈瘤にも対応できるようになり、痛みや内出血も少なくなりました。新しい機器のため、全国でも導入している医療機関は多くありませんが、当院ではいち早くこの新しいレーザー装置を導入し、効果を感じているところです。

当院では年間200例以上の静脈瘤手術を行っており、豊富な経験があります。下肢静脈瘤の診断、治療のことやご不明点などありましたら当院外科外来にご相談下さい。

健康講座

テーマ：もの忘れに気づいたら

地域の皆さまに、より健康な生活を送っていただけるように毎月1回健康講座を開催しております。参加無料です。お気軽にご参加ください。

日時：平成26年9月22日(月) 午後3時～午後4時
 場所：済生会山口総合病院 4階大会議室
 講師：脳神経外科 湧田 幸雄 (前院長)



理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること

ウイルス性肝炎について

～B型・C型肝炎を中心に～

消化器内科
部長 花田 浩



近年の肝がんによる死亡者数は、やや減少傾向にあるものの年間3万人以上の方が亡くなっています。肝がんの原因は約70%がC型肝炎、約15%がB型肝炎により生じています。

B型、C型肝炎はともに血液、体液によるウイルス感染により生じますが、日常生活で感染することはありません。

B型肝炎は、出産時の母子感染が多かったのですが、1986年よりB型肝炎ワクチンとグロブリン製剤を接種するようになってからは、母子感染や持続的にウイルスを保持している人は激減しました。しかし、未だ130～150万人のウイルス保持者がいると推測されています。

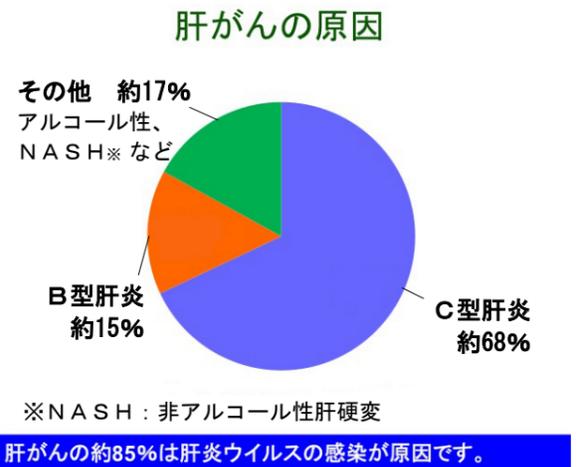
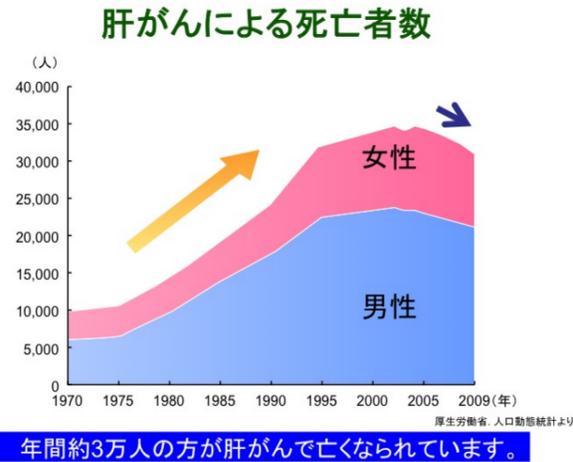
C型肝炎は、主に輸血や血液製剤などで感染し、その約70%が慢性肝炎になっています。しかし、1989年のウイルス発見以降、輸血による感染はほとんどみられなくなりました。慢性肝炎は自覚症状があまりなく、検査を受けてない人も多いため約130～250万人のウイルス保持者がいると推測されています。

B型慢性肝炎の治療は、免疫賦活作用（体の免疫を活発にする作用）をもつインターフェロン療法と内服薬（ウイルスの複製を阻害する核酸アナログ製剤）を使用する療法を年齢やウイルス量により使い分け、肝炎の沈静化を目標としています。

C型慢性肝炎の治療は、インターフェロン製剤に抗ウイルス薬を併用してウイルスの消失を目指します。近年多くの抗ウイルス薬が開発され、約90%のウイルス消失率が得られています。

（今年の9月より、経口剤の抗ウイルス薬のみでの治療法が保険適用となりました。（但し、症例限定）

B型、C型肝炎の治療は目覚ましい進歩を遂げており、肝がんで亡くなる方は減少してきていますが、肝炎ウイルスの検査を受けていない方が多くいらっしゃいます。県指定の医療機関や地域の健康福祉センターにて、無料で検査が受けられます。未検査の方は、まずはウイルスの有無を確認しましょう。



ウイルス性肝炎

	A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎	E型肝炎
感染経路	経口 (海産物)	性交渉 血液 (母子感染)	血液	経口 (猪、鹿、豚)
慢性化	なし	あり	あり	なし
劇症化	まれ	あり	まれ	あり (特に妊婦)
ワクチン	有	有	なし	なし
特記事項	海外では注意。	針刺し事故	針刺し事故	海外では流行地あり。

臨床検査部より

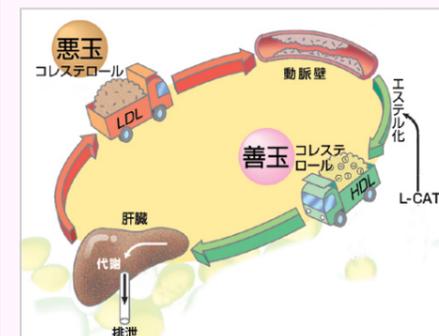
血中脂質代謝検査について



血中脂質代謝検査とは

血液中にはさまざまな物質が含まれていますが、脂質もその1つです。この脂質が活動エネルギーとして適切に利用されたり、緊急時のために蓄えられる仕組みが正常であるかどうか、また血液中に増えすぎていないかどうかを調べる検査です。検査項目として、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪などがあります。

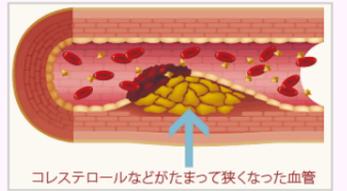
悪玉？善玉？ 中性脂肪？



コレステロールは、肝臓でつくられ、血管・ホルモン・消化酵素の胆汁酸の原料となります。主に卵黄・レバー・チーズなど動物性脂質の豊富な食品から摂取され、細胞膜の維持に使われます。

LDLはコレステロールを末梢まで運び、沈着させ動脈硬化を起こす『悪玉コレステロール』と呼ばれています。一方、HDLは末梢組織のコレステロールを抜き取り去り、動脈硬化を防ぐ『善玉コレステロール』と呼ばれています。

中性脂肪は、小腸で吸収されたあと、血中でエネルギー源として使われ、皮下脂肪・肝臓脂肪として蓄えられます。増えすぎると肥満・脂肪肝・糖尿病の原因となり、LDLコレステロールを増加させます。



検査の前には…

中性脂肪は、食後には誰もが上昇し、少なくとも12時間以上絶食をしなければ正確な値は出ないと言われています。そのため、早朝採血の場合は、夜9時以降の絶食が指示されます。

良好な検査結果を得るために、暴飲(特にアルコール)暴食・運動不足・不規則な生活・ストレスなどの改善を図ることから始められてはいかがでしょうか？

職場紹介
コーナー

医療社会事業室

医療社会事業室は、室長（医事課長兼任）をトップに、医事課長補佐、医療ソーシャルワーカー2名の計4名で構成されています。簡単にいうと、主に福祉の相談窓口を担っています。具体的な相談内容としては、医療費の相談、福祉サービスの利用などについてです。相談内容によっては院内スタッフと相談し、関係機関等とも連携をとりながら対応しています。また、地域の施設への訪問検診や講習会など（通称なでしこプラン）、院外における活動の企画・推進にも携わっています。

